

トルコ南東部を震源とする地震への専門家派遣

(研究期間：令和4年度)

評価システム研究室 都市施設研究室 橋梁研究室 国際研究推進室
(室長) 向井 智久 (室長) 新階 寛恭 (博士(工学)) 白戸 真大 (室長) 大城 温

(キーワード) トルコ、地震、国際緊急援助隊、災害調査



1. 専門家派遣の概要

2023年2月6日にトルコ南東部を震源とする大地震が発生した。国土交通省は、日本政府に対するトルコ共和国政府からの支援要請に基づき、(独)国際協力機構(JICA)が派遣する国際緊急援助隊の専門家チームのメンバーとして、国総研の研究者3名(建築計画・構造分野、都市計画分野、土木構造物分野)を含む6名を3月6日から16日まで現地に派遣した¹⁾。

2. 現地での活動内容

現地においては、建築計画・構造分野、都市計画分野について、地震の影響が比較的大きかったハタイ、アンタキヤ、ギョルバシュ、カフラマンマラシュ等において現地調査を実施し、調査結果をもとにイスタンブールやアンカラにおいて今後の復旧・復興に向けて有識者と意見交換等を行った。

土木構造物分野については、アンカラでのトルコ道路庁(KGM)等との協議後、ガジアンテップ、ヌルダ、マラティアにて、橋梁等の被災状況を調査した。

3. 派遣後の活動内容

隊員3名は所定の任務を果たし帰国後、他の隊員とともに3月24日に斉藤国土交通大臣へ帰朝報告を行った(写真-2)²⁾。

その後、4月20日に国総研・土研の共同で、白戸橋梁研究室長及び土研地質・地盤研究グループ榎山主任研究員(土研からの派遣隊員)による講演会を開催した。11月には、調査した道路及び橋梁の損傷事例に関する報告書³⁾を公表した。また、1月に放映されたトルコのテレビ局番組⁴⁾において、向井評価シ

ステム研究室長がインタビューを受け、日本の建築耐震基準・地震対策、実験施設について紹介した。

詳細情報はこちら

- 1) 国土交通省記者発表資料(R5.3.3)
<https://www.nilim.go.jp/lab/bcg/kisya/journal/kisya20230303.pdf>
- 2) 国土交通省記者発表資料(R5.3.27)
https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo07_hh_000670.html
- 3) 国総研資料第1260号
<https://www.nilim.go.jp/lab/bcg/siryou/tnn/tnn1260.htm>
- 4) 「日本は如何に成功したか?」第3回 | NTV
<https://www.youtube.com/watch?v=r-8Yp0N5YpQ>



写真提供：JICA

写真-1 建築の専門家による技術的助言

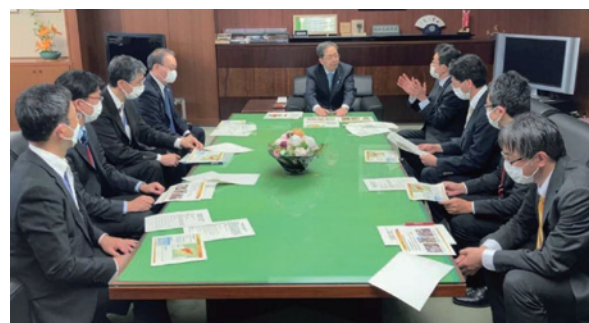


写真-2 斉藤国土交通大臣への帰朝報告